

宮本三郎

Women and Flowers

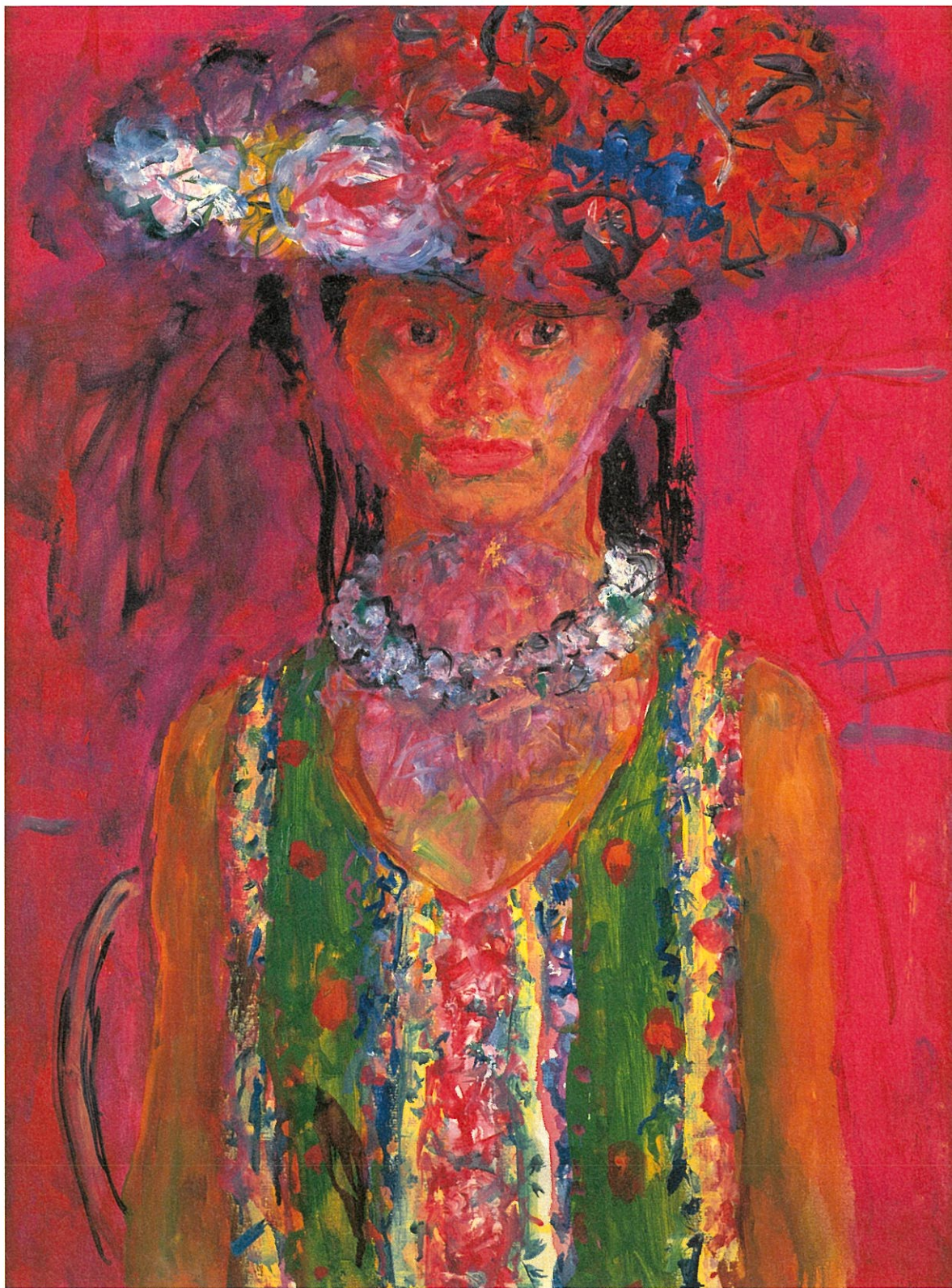
花

々と、

女

たち

と



《婦人像》1969年頃

開館時間 || 10:00～18:00 (最終入館は17:30まで)

休館日 || 毎週月曜日 (ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日は休館=5月7日(火)、7月16日(火)、8月13日(火)、9月17日(火)、9月24日(火))

*4月23日(火)から5月6日(月・振替休日)までは開館します。

観覧料 || 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上／中小生100円(80円)

*障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。

介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください

* ()内は20名以上の団体料金

*小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

2019

4/2(火) — 10/6(日)

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13 TEL:03-5483-3836

<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

宮本三郎 花々と、女たちと

Women and Flowers



《花と女》1932年



《画室の裸婦》1954年



《かいう》1968年頃



《(静物 壺 花 コップ)》1961年頃

*()は題不詳につき仮題

イベント情報

担当学芸員によるギャラリートーク

6月8日(土) 11:00～

7月13日(土) 11:00～

*いずれも20分程度、参加費無料(観覧料別途)、
事前申込不要

講座室活動

当館では、年間を通して講演会やワークショップ、
コンサートなどを開催しています。

サマー・ワークショップ2019

展覧会会期中の8月に、
どなたでも気軽に参加できるイベントを開催します。
詳細はホームページなどでお知らせいたします。

洋画家・宮本三郎(1905-1974)は生涯に二度渡欧し、西洋絵画の歴史や伝統を学びました。

1939年の初めてのパリでは、ルーヴル美術館で名画を鑑賞し、模写をするなどして、西洋絵画の真髄に触れ、マチスやピカソなど20世紀初頭の前衛絵画の影響を受けながら、帰国後、独自の写実絵画の可能性を模索しました。

宮本三郎が特に多大な影響を受けたのは、マチスの奥行きを拒否した裸婦と室内の壁紙文様が一体化した装飾的な絵画でした。宮本の裸婦もシーツの文様と浴衣を着た裸婦が一体化しています。陰影をなくしたため、裸婦の重さが消失し、まるで裸婦が画面から転げ落ちて来そうな不思議な絵画が誕生します。以後、宮本の女性像の探求は画業の中心となり、留まることを知りません。

着衣のポートレート、ベッドに横たわる裸婦像、椅子に腰かける女性座像、鏡の前の裸婦立像、着衣の全身像など、様々な構図の作品が次々と生まれます。

モデルの女性の髪形や顔の表情、肌の色、衣装の素材や柄、クッションの小道具なども微妙なタッチで描き分け、室内の背景や床面についても様々な色や柄を試み、無地や装飾的な文様を組み合わせ、女性像を千変万化させます。

一方、もう一つのテーマである花も初期から晩年に至るまで様々な画風で描いています。最初は、フォーヴィスムの画家、ドラン風の太いタッチで描く花瓶に挿した花の絵です。次に登場するのは、18世紀フランスの画家シャルダンを彷彿させる静物画で、観るものに詩情を感じさせます。そして、晩年になると、原色の赤や緑、青を多用した強烈な色遣いと荒々しいタッチで、宮本独自の花の静物画が生まれます。

宮本三郎が生涯を通じて追求したテーマである「花々と、女たち」は、いずれも儂い命の光り輝く瞬間を捉えており、生命への讃歌が謳われています。花と女性をモチーフとした今回の展示で、宮本三郎の絵画に込めた思いを感じて頂ければ幸いです。

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

【交通案内】

- ◎電車＝東急東横線・大井町線「自由が丘」駅より徒歩7分／東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分／東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分
- ◎バス＝東急バス(渋11)田園調布駅～渋谷駅「奥沢六丁目」下車徒歩1分／東急バス(園01)田園調布駅～千歳船橋駅「浄水場前」下車徒歩10分

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016
東京都世田谷区砧2-5-1
TEL:03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

- 草屋根と絵筆 向井潤吉のエッセイとともに
2019年4月2日(火)～10月6日(日)

2019年10月7日(月)から2020年4月上旬まで改修工事のため休館を予定しています。



◎宮本和義

〒158-0083
東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL:03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

世田谷美術館分館

清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066
東京都世田谷区成城2-22-17
TEL:03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

- 清川泰次 具象から抽象への歩み
2019年4月2日(火)～10月6日(日)



◎宮本和義



◎宮本和義



世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL:03-3415-6011(代表)

【展覧会のご案内】

TEL:03-5777-8600(ホラーダイヤル)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>
*詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催展

企画展

ミュージアム
コレクション

- 田沼武能写真展 東京わが残像1948-1964 || 2019年2月9日(土)～4月14日(日)
- ある編集者のユートピア 小野二郎:ウィリアム・モリス、晶文社、高山建築学校 || 2019年4月27日(土)～6月23日(日)
- 高橋秀+藤田桜——素敵なふたり || 2019年7月6日(土)～9月1日(日)
- チェコ・デザイン100年の旅 || 2019年9月14日(土)～11月10日(日)
- ミュージアム コレクションI <それぞれのふたり> 池田良二と海老塚耕一 || 2019年4月20日(土)～7月21日(日)
- ミュージアム コレクションII 森芳雄と仲間たち || 2019年8月3日(土)～11月24日(日)